

## 百日咳の治療でピペラシリンの投与を受けられた患者さんの情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

本研究は患者様の診療において必要な治療の情報を収集するもので、患者様に特別な負担が発生することはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]百日咳に対するピペラシリンを用いた抗菌療法に関する検討：小児を対象とした単施設後視的調査

[当院の研究責任者] 薬剤部 大石博史

### [研究の背景]

百日咳は百日咳菌によって引き起こされる急性の気道感染症であり、小児に多くみられる疾患です。百日咳に対する抗菌療法にはマクロライド系抗菌薬という内服抗菌薬が使用されますが、嘔吐や食欲不振により経口服用が必ずしも容易ではない場合はピペラシリン(PIPC)という抗菌薬を使って治療していくことがあります。しかし、PIPCを用いた抗菌療法に関する検討は十分ではありません。

### [研究の目的]

小児における PIPC の効果を探索的に検討することが目的です。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2015 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの期間で発熱や上気道症状出現から 3 週間以内に当院で百日咳として PIPC の投与を受けた小児の方

#### ●研究期間：本研究実施許可日～西暦 2023 年 12 月 31 日

#### ●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、既往歴、併用薬、使用抗菌薬の種類及びその投与量と投与期間、検出菌および検出した菌の薬剤感受性結果、4 種混合 (DPT-IPV)

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

ワクチン投与回数、感染巣、酸素投与の有無、人工呼吸器の有無、臨床検査値(血清クレアチニン、血中尿素窒素、アスパラギン酸トランスアミナーゼ、アラニンアミノトランスフェラーゼ、 $\gamma$ -グルタミントランスペプチターゼ、総ビリルビン、アルカリフォスファターゼ、白血球数、リンパ球数、C 反応性タンパク)、体温、血圧、心拍数、呼吸回数、転帰など

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

薬剤部・大石博史

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881